

内容	現地で原木の伐採現場を見るなど、しいたけ原木になるまでを見学する。クヌギ、ナラの木の新芽更新など、しいたけ原木を通した森林の循環的利用や森林の働きについて解説する。
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・昔ながらの方法で、原木しいたけを作ることは、森を守ることであることを学ぶ。 ・しいたけは原木だけの養分で育つので、農薬も化学肥料も不要で、人と環境にやさしいことを学ぶ。
学習効果	森林環境に対する関心の向上。 森林からの恵み、きれいな水にして海への恵みにつなげる。
関連教科	理科
対象学年	小学校3～6年 実績では、松阪市立南小学校、JA松阪あぐりスクール、大石幼稚園など
対象人数	10～30名程度
場所	山林
時期	冬から早春
進め方	<ul style="list-style-type: none"> ・しいたけの原木伐採の現場を見学する。 ・原木を使ってしいたけの菌打ち体験をする。 ・針葉樹と広葉樹の違い、特に新芽更新による森林の循環的利用について説明し、森林の機能等も解説する。 ・しいたけの発生までは1年半ほどかかるため、当方でその間の管理を行い、収穫後に学校まで届けることを説明する。 ・感想をまとめてふりかえりを行う。

ポイント	森林環境教育と併せて食育の要素も加えて活動を行う。
道具・材料	手袋、筆記用具、ヘルメット
所要時間	現地説明で120分
経費	1回あたり5万円程度 (講師料、松阪市内のバス送迎、原木、ヘルメット、軍手等の経費を含む)
森のせい 氏名・団体名	青木 茂 (大石里山林保全会)

